

英 文 学 研 究

第九十九卷

目 次

論 文

- Noting Nothing — *Much Ado About Nothing* の言語 福 士 航 1
(Noting Nothing: Language of *Much Ado About Nothing*) (FUKUSHI Wataru)
- 『武器よさらば』における窒息と溺死の修辞
——ヘミングウェイと1918年のインフルエンザ・パンデミック... 石 塚 久 郎 17
(Choking and Drowning in *A Farewell to Arms*: (ISHIZUKA Hisao)
Hemingway and the 1918 Influenza Pandemic)

書 評

- 惣谷美智子・岩上はる子編『めぐりあうテキストたち
——ブロンテ文学の遺産と影響』..... 佐 美 真 理 35
- サミュエル・バトラー著、武藤浩史訳『エレホン』..... 田 中 裕 介 39
- 宇田和子著『ブロンテ姉妹の食生活——生涯、作品、
社会をもとに』、
大西祥恵著『モダニズムの胃袋
——ヴァージニア・ウルフと同時代の小説における
食の表象』..... 川 崎 明 子 44
- 川端康雄著『ジョージ・オーウェル
——「人間らしさ」への讃歌』..... 渡 辺 愛 子 49
- 中井亜佐子著『〈わたしたち〉の到来
——英語圏モダニズムにおける歴史叙述とマニフェスト』... 河 野 真 太 郎 54
- 奥畑豊著『ハロルド・ピンター
——不条理演劇と記憶の政治学』..... 谷 岡 健 彦 59

山口ヨシ子著『異性装の冒険者 ——アメリカ大衆小説にみるスーパーウーマンの系譜』... 佐々木 真理	63
エミリ・ディキンソン著、朝比奈緑・下村伸子・ 武田雅子編訳著『【ミラー版】エミリ・ディキンソン詩集 ——芸術家を魅了した 50 篇〈対訳と解説〉』..... 小 泉 純 一	67
遠藤光著『ブルーロックの世界 ——T. S. エリオットの限りなく悩めるもの』..... 三 宅 昭 良	72
小笠原重衣著『アヴァンギャルド・ヘミングウェイ ——パリ前衛の刻印』..... 山 本 裕 子	77
諏訪部浩一著『カート・ヴォネガット ——トラウマの詩学』..... 吉 田 恭 子	81
山口和彦著『コーマック・マッカーシー ——錯綜する暴力と倫理』..... 井 上 博 之	84
原成吉著『アメリカ現代詩入門 ——エズラ・パウンドからボブ・ディランまで』..... 吉 田 要	88
貴志雅之著『アメリカ演劇、劇作家たちのポリティクス ——他者との遭遇とその行方』..... 外 岡 尚 美	93
高野泰志・竹井智子編著『テキストと戯れる ——アメリカ文学をどう読むか』..... 舌 津 智 之	97
堀内正規著『生きづらいこの世界で、アメリカ文学を読もう ——カポーティ、ギンズバーグからメルヴィル、 ディキンソンまで』..... 坂 根 隆 広	102
土岐恒二著、吉田朋正編『照応と総合 ——土岐恒二個人著作集+シンポジウム』..... 圓 月 勝 博	107
イギリス小説読書研究会編『英語圏小説と老い』..... 井 川 ちとせ	111
平林美都子編著『女同士の絆——レズビアン文学の行方』... 千代田 夏 夫	116
伊藤詔子・一谷智子・松永京子編著『トランスパシフィック・ エコクリティシズム——物語る海、響き合う言葉』 (Shoko Itoh, Tomoko Ichitani, and Kyoko Matsunaga (eds.), <i>Transpacific Ecocriticism: Narrating Ocean and Echoing Words</i>)...TAKETANI Etsuko	121
Stefanie Bode, <i>Casting a Minimalist Eye on Adjuncts</i> HAYASHI Norimasa	126
窪園晴夫著『一般言語学から見た日本語のプロソディー ——鹿児島方言を中心に』..... 桑 本 裕 二	137

雑 録

日本英文学会第 45 回新人賞選評・第 46 回新人賞規程	143
寄贈本一覧	150
投稿規程	153
編集委員会からのお知らせ	157